

公益社団法人 地盤工学会 調査・研究部
 令和元年度第3回調査・研究部全体会議 通算第3回調査・研究部会
 議事録

日時	令和元年10月7日(月) 15:00~17:00		場所	地盤工学会会議室	
部長	高橋 直樹 (三井住友建設)	○	理事	川端 伸一郎 (北海道科学大学)	×
副会長	堀越 研一 (大成建設)	×			
幹事長	高野 大樹 (港空研)	○	副幹事長	森口 周二 (東北大学)	×
研究・連携・情報委員会			幹事	鈴木 健介 (鹿島建設)	×
ワ幹事	橋本 則之 (不動テトラ)	○	★部員	山田 卓 (大阪市立大学)	◎
★部員	中井 健太郎 (名古屋大学)	×	ワザハ	後藤 茂 (早稲田大学)	○
研究発表会委員会			幹事	笠間 清伸 (東京工業大学)	○
★ワ幹事	清田 隆 (東京大学)	○	部員	内村 太郎 (埼玉大学)	○
部員	高井 敦史 (京都大学)	◎	★部員	川井 康右 (川崎地質)	○
★部員	倉知 禎直 (オリエンタル白石)	○	ワザハ	高野 大樹 (港空研)	○

配付資料

資料番号	資料
資料-1-3.0	令和元年度 第2回 調査・研究部運営会議議事録(案) (R1/8/30 開催)
資料-1-3.1	令和2年度 事業方針・計画(案)、予算(案)作成のお願い他
資料-1-3.2	第62回地盤工学シンポジウム 企画案他
資料-1-3.3	図書室整理資料他
資料-1-3.4	地盤環境汚染対策の科学的合理性判定のための調査・試験・評価法に関する研究委員会 議事録案
資料-1-3.5	第13回環境地盤工学シンポジウム収支報告
資料-1-3.6	研究発表会プログラム改革案他
資料-1-3.7	研究発表会若手座長制度運営細則他
資料-1-3.8	第55回地盤工学研究発表会(京都大会) 予算案
資料-1-3.9	令和元年度理事会議題書 (R1/9/20 開催)
別添資料-1	第54回地盤工学研究発表会技術展示出展者アンケート結果

- I. 前回 (R1/8/30 開催) 調査・研究部会全体会議議事録の確認 (資料-1-3.0, pp.1-5)
→前回 (R1/8/30 開催) 調査・研究部会全体会議議事録が確認された。修正点があれば、高野幹事長に連絡する。

II. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 令和2年度事業計画および予算案 (資料-1-3.1, pp.6-12)
→来年度の事業計画及び予算案の説明がなされた。

[報告事項]

2. 創立70周年記念事業の調査・研究部担当
第13回環境地盤工学シンポジウム
→資料-1-3.5を用いて参加者数や収支について報告がなされた。
3. 東日本大震災合同調査報告書の商品在庫数 (9月末現在)
Aセット (3冊組、20,000円) : 7セット/100セット、 Bセット (2冊組、14,000円) : 188セット/200セット
共通編 : 0冊、 地盤編1 : 102冊、 地盤編2 : 43冊
→値段の変更は、ISBNなども変更する必要があり難しいことが報告された。次回も継続審議。
4. 過年度未収金
なし
→過年度の未収金がないことが報告された。

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

5. 研究委員会関係

6. シンポジウム関係

- 1) 第62回地盤工学シンポジウム (2020年開催) (資料-1-3.2, pp.13-14)

テーマ案 : 地盤工学におけるデータの品質と信頼性, その有効利活用

講師案 :

→講師案について報告があった。i-constructionについて、大阪大学の矢吹先生が候補として挙げられた。航空レーザー測量やドローン (UAV) に関する講師の先生を推薦することとなった。

スケジュール :

→スケジュールの確認がなされた。

7. 情報関係

- 1) 図書室整理の課題に対する対応 (資料-1-3.3, pp.15-28)

→図書管理システム, 費用およびスケジュールについて説明された。現状の図書館利用者が月に1~2名であり, 書籍の紛失も見られることが報告された。所蔵図書の絞り込みを行って必要な経費を削減する。予算案を10月15日までに高橋部長に連絡する。

[報告事項]

8. 研究委員会関係

- 1) 研究委員会活動状況報告 (資料-1-3.4, pp.29-30)

橋本部員 : 次世代地盤改良技術に関する研究委員会

→10月14日に講演会を予定していることが報告された。開催案内はHPとメールリストで案内されている。

山田部員 : 地盤環境汚染対策の科学的合理性判定のための調査・試験・評価法に関する研究委員会

→第1回委員会内容及び今後のスケジュールについて報告がなされた。

中井部員 : 未曾有の豪雨により複合化した土砂・水災害に遭遇する時代に突入した地盤技術の今後と社会的な方策に関する研究委員会

→前回は議論された「委員会資料の作成補助謝金」については、様々な情報収集について補助に関する人件費であるとの説明があり、了承されたことが報告された。

- 2) 次世代地盤改良技術に関する研究委員会主催講演会 準備状況報告

日時 : 2019年10月21日 (月) 15:30~17:00 場所 : JGS会館 参加費 : 無料

申込者数 : 9名 (10月4日現在)

- 3) 廃炉地盤工学委員会主催講習会 準備状況報告

- a. 「現場実験から把握する地下水の実流速（その3）」に関する講習会
日時：2019年10月18日（金） 9：00～16：30 場所：日本大学文理学部 参加費：無料
申込者数：10名（10月4日現在）
→現在、参加者を募集していることが報告された。

- b. 「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』」に関する講習会
日時：2019年12月10日（火） 14：00～17：30 場所：JGS 会館 参加費：無料
申込者数：12名（10月4日現在）
→委員会の今後の予定について説明がなされた。

9. シンポジウム関係

- 1) 第13回環境地盤工学シンポジウム（2019.9.10-11、札幌）開催報告 **（資料-1-3.5, p.31）**

10. 情報関係

IV. 研究発表会委員会

[審議事項]

11. 今後の検討

- ・プログラム改革案（DS含めて） **（資料-1-3.6, pp.32-52）**

→以下のような意見がでた。

- ・京都大会では、企業展示会場でのプレゼン、産官学での連携セッション（展示会場）および若手技術者の発表セッション（発表会場）を企画している。
- ・開催地域プロジェクト紹介セッションは、市民向けでもよいのではないか？
- ・若手に関して：一般セッションで発表時間を長くするのが良いのではないか？ 良いものを査読論文に推薦するのはどうか？
- ・表彰セッションの受賞者発表は、関連一般セッションの最初に行う。
- ・DSについては、依頼原稿はなしとする。アンケート文章の「・依頼原稿については発表申込料を不要としますが、参加料は必要です。」を削除する。
- ・11月22日の理事会でセッション改革（案）を説明する資料を研究発表会委員会で準備する。
- ・若手座長制度細則案 **（資料-1-3.7, pp.53-55）**

→英語対応については適宜サポートする。

- ・研究発表会参加証のIC化（事務作業の効率化）

→今後情報収集して、次回議論する。

12. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）

1) 論文投稿システムの変更

→先日の理事会でシステムの変更が承認された。予算が100万円程度削減できる、プログラム編成が簡単になる、論文のダウンロード数の把握などのメリットがある。今後、業者との打合せを進めていく。

2) 予算案

（資料-1-3.8, p.56）

→参加登録者や展示企業数などに関する修正点について説明があった。託児所は発表会会場で設けるのではなく、HPなどを通じて託児所を紹介することが確認された。

[報告事項]

13. 第54回地盤工学研究発表会（さいたま大会）

1) 技術展示出展者アンケート結果

（別添資料-1）

→アンケート結果を高橋部長が説明した。

V. その他

14. 9月理事会報告

（資料-1-3.9, pp.57-62）

→調査・研究部からの審議事項は、すべて承認されたことが報告された。

15. 理事会（令和元年10月25日（金））開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項] 新大会システム Confit 導入の準備状況

16. 総務部会（令和元年10月9日（水）開催予定）への提案事項

★ 令和元年度 調査・研究部会 開催日程 (予定含む)

- ① 6月27日(木)
- ② 8月30日(金) ※WEB 審議
- ③ 10月7日(月)
- ④ 12月6日(金) ※WEB 審議
- ⑤ 4月3日(金)

★ 令和元年度 理事会 開催日程 (予定含む)

- ① 4月19日(金) ※書面審議
- ② 5月17日(金)
- ★ 6月7日(金) 総会/理事会
- ③ 6月14日(金) ※書面審議
- ④ 7月26日(金)
- ⑤ 9月20日(金)
- ⑥ 10月25日(金) ※書面審議
- ⑦ 11月22日(金)
- ⑧ 12月20日(金) ※書面審議
- ⑨ 1月24日(金)
- ⑩ 2月21日(金) ※書面審議
- ⑪ 3月13日(金)

-
- ⑫ 4月17日(金) ※書面審議
 - ⑬ 5月15日(金)
 - ★ 6月5日(金) 総会/理事会